

目 次

・ 総括研究報告	
研究代表者 木村 通男	1
電子カルテ情報を用いた証拠性のある臨床研究手法に関する研究	
・ 分担研究報告	
研究分担者 中島 直樹	9
臨床系データバリデーション品質管理手順検討	
研究分担者 澤 智博	17
研究用計測機器ユーザー認証等証拠性保全検討	
研究分担者 作佐部 太也	21
測定、画像データ証拠性・安全運用環境検討	
研究分担者 渡辺 浩	25
研究用計測機器ユーザー認証等証拠性保全検討	
・ 研究成果の刊行に関する一覧表	27
・ 研究成果の刊行物・別刷	
【論文発表】	
1. 澤 智博	29
周休溼医療におけるビッグデータ活用とデータサイエンス, 麻酔, 64 増刊, S104-S112, 2015.	
2. 澤 智博	41
コンピュータはどこまで”医師”に近づいたか?, The Next Technology, 日経BP社, 146-151, 2015. ISBN978-4-8222-7975-2.	
3. 澤 智博	45
HIS - 既存システムの考察と今後あるべき姿を考える, 月刊新医療, 42(11)67-70, 2015.	

4. 澤智博 51
人工知能時代を前に医師が考えるべきことは？大阪府保険医雑誌, 2016(2)20-25, 2016.

【学会発表】

1. Reinhold Haux, Antoine Geissbuhler, Michio Kimura, et.al, 59
Are We Doing the Right Research in Biomedical and Health Informatics and Are We Doing it Right?,
Panel Session, MEDINFO15, Sao Paulo, Brazil, August 20, 2015.
2. Kimura M. 63
The Use of EHRs Support research in Japan, 2015 CDISC International Interchange,
Chicago, USA, November 11, 2015
3. 木村通男 67
医療情報電子化を基盤とした Retrospective Study から Prospective Study へのトランスレーション,
第 36 回日本臨床薬理学会学術総会 日本医療情報学会共催シンポジウム, 12 月 11 日, 2015.
東京都
4. 澤智博 77
周休期の臨床効果データベースと偶発症例調査事業, 第 35 回医療情報学連合大会, 医療情報学,
第 35 回医療情報学連合大会論文集, 35-Suppl., 88-89, 11 月 3 日, 2015. 宜野湾市
5. 澤智博 81
周休期医療におけるビッグデータ活用とデータサイエンス, 日本麻酔科学会 第 62 回学術集会,
5 月 29 日, 2015. 神戸市
6. 渡辺浩 83
モジュール単位開発のメリットを活かした研究者支援基盤システム構築の報告,
第 35 回医療情報学連合大会, 医療情報学, 第 35 回医療情報学連合大会論文集, 35-Suppl.,
418-419, 11 月 2 日, 2015. 宜野湾市